

校長 eyes (166)

12月26日(木)【最後の一葉】



日に日に寒くなり、木々の葉っぱもほぼ散っています。明德堂舎前のソメイヨシノの木もこの通りです。こんな木を見ていると『最後の一葉』の物語を思い出します。確か、自分の命もあの最後の一葉が散ると尽きてしまうという、病に伏せる少女がいて、同じアパートに住む老画家が精巧な葉を命懸けで壁に描き、それがいつまでも散ることがなく、それを見て少女も元気を取り戻していくというストーリーでしたよね。(オー・ヘンリの短編集より)

本日の短歌

「オー・ヘンリ 短編集は 面白い この時期ふさわし 『最後の一葉』」